

第235回 コミュニケーション・プラザ

日 時：令和元年7月29日（月） 13：30～17：00

場 所：一般財団法人ベターリビング会議室

東京都千代田区富士見2-7-2 ステージビルディング7F

企 画：財務省アドバイザーグループ

司 会：財務省主計局厚生労働第6・7係 主査 神野 貴史

「住宅金融を考える」

「固定金利にすべきか、変動金利にすべきか、それが問題だ」住宅購入者の多くが抱える悩みですが、その大前提として住宅購入と住宅金融は切っても切れない関係にあります。住宅は個人の暮らしを支える場であるとともに、重要な資産となります。人々の暮らしを豊かにすると同時に、資産形成を後押しするために、これまで住宅金融が発展してきました。

人々の暮らしの変化や債券市場の動向など多くの変数からの作用により、住宅金融は変貌を遂げています。例えば、政府が提唱する「人生100年時代」において求められる住宅金融の姿はどのようなものでしょうか。情報技術の進展は住宅金融にどのような影響をもたらすのでしょうか。

また、反作用として、住宅金融の進歩が住宅市場にも変革の風をもたらします。リバースモーゲージやフラット50などの金融商品はどのような住宅の需要を増大させるのでしょうか。

住宅金融に関する理解を深めることは住宅市場の屋台骨を知ることにつながります。今回のコミュニケーション・プラザでは、住宅金融の最新の動向を紹介し、住宅市場の未来を皆さまと考えたいと思います。

1. 司会挨拶 13:30～13:35

2. 第4次情報革命と住宅金融 13:35～14:20

早稲田大学大学院経営管理研究科教授 川口 有一郎

3. 高齢化社会に向けた住宅金融支援機構の取組等 14:20～15:05

住宅金融支援機構 業務企画部 業務企画グループ長 市村 真

—————休憩—————

4. 住宅ローンと債券市場の密接な関係 15:20～16:05

新生証券株式会社 調査部長

一般社団法人 流動化・証券化協議会 顧問 江川 由紀雄

5. 人生100年時代における、リバースモーゲージと不動産活用について 16:05～16:50

株式会社 フィナンシャルドゥ 保証事業推進部 黒瀬 保広

6. 質疑応答 16:50～17:00

7. 懇親会 17:00～

一般財団法人住宅産業研修財団 C P 事務局 行き

第 2 3 5 回 コミュニケーション・プラザ

ご出席

ご欠席

(どちらかに○をおつけください)

御社名 :

部 署 :

お役職 :

電話番号 :

ご氏名 :

* 2 名以上のご参加の場合、下記にご記入下さい。

部 署	お役職	ご氏名

● 出欠はこの用紙にご記入の上 FAX いただくか、info@jaho.or.jp にご出席の方の

部署・お名前をご記載いただきお送りくださいませ。

● 準備の都合上、7 月 22 日（月）までにご返信下さい。

F A X : 0 3 - 6 2 7 3 - 2 5 9 5

7/29（月）一般財団法人住宅産業研修財団『コミュニケーション・プラザ』会場

一般財団法人ベターリビング（事務所への入口は2階です。）

〒102-0071 東京都千代田区富士見2-7-2 ステージビルディング 7F

■交通案内 電車利用：J R 飯田橋駅 東口改札 徒歩3分
有楽町線・南北線・東西線・都営大江戸線
飯田橋駅 A4出口 徒歩2分

